

2020年2月18日

一般入試A日程の出題について（お詫び）

京都先端科学大学
学長 前田 正史

「一般入試A日程」の2月1日実施分の「物理」、2月3日実施分の「国語」「日本史」の出題について、下記の不適切な設問がありましたので、お詫びとご報告を申し上げます。

入学試験については、細心の注意を払い実施しておりますが、今後はこのようなことのないよう、再発防止に最大の努力をする所存でございます。ご迷惑をおかけ致しましたことお詫び申し上げます。

なお、今回の一般入試A日程の合否には影響の無いことを申し添えます。

記

【2月1日実施】 「物理」

<対象学部>

工学部

<問題とミスの内容>

第4問の設問 2.5 において、

問題文の空所に入る適切なものを解答する問題で、文中の「平凸レンズの曲率半径は 2.5 mと計算される。」と記載するところを誤って、「平凹レンズの曲率半径は 2.5 mと計算される。」と記載してしまったため正答が存在しない設問となりました。

<対応>

当該問題については、正答が存在しないため設問 2.5 は全員正解（8点）といたします。

【2月3日実施】 「国語」

<対象学部>

経済経営学部・人文学部・健康医療学部・バイオ環境学部

<問題とミスの内容>

□の問一 31 において、

指定された漢字を組み合わせて熟語が作れないものを解答する問題で、本来は④を正答として作成していましたが、選択肢がすべて熟語として成り立つことが判明し、正答が存在しない設問となりました。

<対応>

当該問題については、正答が存在しないため、設問31は全員正解（2点）といたします。

【2月3日実施】 「日本史」

<対象学部>

経済経営学部・人文学部

<問題とミスの内容>

第3問 問15 において、

当初、正答を④としていましたが、選択肢①の文言で「激しいインフレーションがおこり、貿易取引などで用いられる銀貨に対する紙幣の価値が下落した。」と記載すべきところを、「高騰した。」と記載したため、正答が複数存在することとなりました。

<対応>

当該問題については、正答が複数あり得ると判断し、選択肢①④いずれの解答も正解といたします（3点）。

以上